

研究区分	教員特別研究推進 国際共同研究・国際交流の推進
------	-------------------------

研究テーマ	カリフォルニア大学デービス校と協同で行う COIL 型教育による DX 人材育成支援				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
	研究分担者	所属・職名	薬学部・准教授	氏名	坂本 多穂
		所属・職名	薬学部・助教	氏名	清水 聡史
		所属・職名	薬学部・助教	氏名	児玉 昌美
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	刀坂 泰史
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	砂川 陽一
		所属・職名	薬学部・客員教授	氏名	渡邊 泰秀
		所属・職名	カリフォルニア大デービス校・教授	氏名	Colleen E Clancy
		所属・職名	カリフォルニア大デービス校・准教授	氏名	佐藤 大輔
		所属・職名	カリフォルニア大デービス校・准教授	氏名	Igor Vorobyov
		所属・職名	Queen Mary University of London,教授	氏名	鈴木 憲
	所属・職名	Queen Mary University of London,RA	氏名	伊藤 智哉	
発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子	

講演題目	カリフォルニア大学デービス校と協同で行う COIL 型教育による DX 人材育成支援
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本学が上智大学・お茶の水女子大学とともに進めていた文部科学省「大学の世界展開力強化 (COIL) 事業」(平成30年度～令和4年度)を発展させるべく、米国側指定校カリフォルニア大学デービス校と本学との国際連携をより実質的で強固にして世界への発信力を高めるために、我が国を含む先進国共通の課題である「健康長寿」に対応すべく DX 人材を育成するシステムを構築することが本研究の目的である。</p> <p>本学薬食生命総合学府は、2002年度文部科学省「21世紀 COE プログラム」、さらに2007年度「グローバル COE プログラム」に取り組み、「健康寿命」延伸を実現化するための教育環境を充実させてきた。QS 世界ランキング農林部門1位を誇るカリフォルニア大学デービス校とは、グローバル COE プログラムの海外連携教育研究拠点としての交流を経て、2011年に大学間連携協定が締結されて以来、毎年数名の学生・研究者が行き来し、グローバル人材の養成に貢献してきた。最近、静岡県の重要な産業である「茶学」について、各部局縦断的な組織を形成して COIL 型教育を展開したところ、一部では新規プロジェクトが立ち上がるなどの成果が得られた。</p> <p>今年度は、薬学研究院にて2019年度から開始した COIL 教育の経験を踏まえて、「健康長寿」の鍵となる循環器パラメータをコンピューター上で扱う DX 人材の育成を目指す取り組みを実施した。オンラインを通じて、UC Davis 佐藤 大輔准教授に、大学院講義である先端分子特論/生体情報分子解析学特論の1コマを担当してもらい、心臓電気活動のベースとなる心筋細胞活動電位シミュレーターを用いたオンライン演習を実施した。講義では、希望者には本予算で購入したノート PC を貸し出し、シミュレーションによる不整脈モデルに対する治療薬の作用を検討した。また、ロンドン大学の循環器領域の研究者もオンライン授業に招へいし、COIL による「クロスコンチネンタル」な学術交流を実現した。</p> <p>以上より、大学院専門教育において、COIL 型「実践」教育を通じて、健康科学領域で AI を駆使できる DX 人材の育成に貢献することが出来た。</p>